

ジュニア・リーダーからの意見聴取概要

【開催日時】 令和6年9月29日（日曜日） 13時00分～15時30分

【場 所】 墨田区立横川小学校 体育館

【参加者】 ジュニア・リーダー31名（中学生18名、高校生13名）

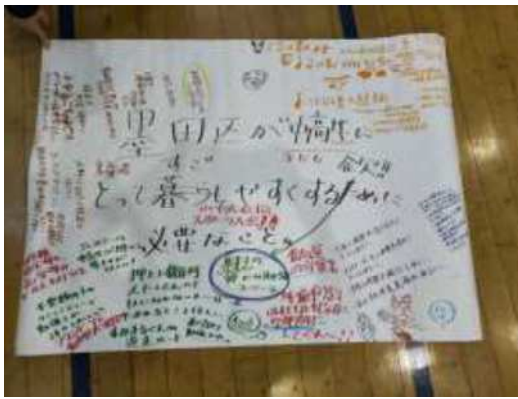
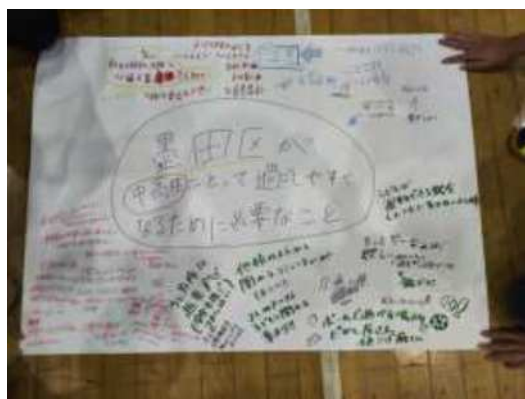
【目 的】 墨田区内の中高生たちの日常生活や意識を深く理解しているジュニア・リーダーの声を基本構想の策定に活かすため、子どものための条例について考えるワークショップの開催と連携して意見聴取を実施した。

（墨田区少年団体連合会及び墨田区教育委員会が共同で主催しているジュニア・リーダー研修会の9月研修会の講義の時間を活用。）

【内 容】

時間	内容
13:00	アイスブレイク
13:20	ワールドカフェ 墨田区が中高生・こどもにとって過ごしやすくなるために必要なことって何？
14:30	ジュニア・リーダーからの提案づくり ① 各班で行政に取り組んでもらいたいこと TOP3 を考える ② こども基本法の理念への分類（①でまとめた内容を6つの理念に分類）

当日の様子



【ジュニア・リーダーからの意見 ワークショップ報告書より】

◇分類Ⅰ 個人として尊重され、基本的人権が保障され、差別を受けない

・今ある規制の根拠を示す

参加者は、現在の学校や社会における規制について、その根拠を明確に示してほしいという意見を述べました。規制の背景や理由が不明なままでは、納得ができず、協力しにくいと感じています。納得できれば、規制を守る意識も高まり、自主的な行動に繋がるとしています。

・中高生の居場所づくり

中高生が気軽に過ごせる居場所が不足しているという指摘がありました。特に、自由に意見を交換できる場や、一人でリラックスできる空間が求められています。参加者は、居場所の不足が精神的なストレスを増加させていると感じています。

◇分類Ⅱ 適切に育てられること。生活を保障されること

・室内・屋外のフリースペースの確保

天候に左右されず、安心して集まれるフリースペースの必要性を訴えています。特に、無料で利用できる場所や、設備の整った場所を希望しています。

・設備の更新

学校や公共施設の老朽化が問題視されています。最新の設備が整った場所で勉強したり遊んだりすることができるように、設備の更新を求めています。

・中高生が遊べる施設を増やしてほしい

公園や児童館などの施設では、中高生が利用する場が限られているとの声がありました。特に、小学生が利用する公園では中高生が遊びにくいという問題が指摘されています。参加者たちは、中高生が自由に遊べる場所をもっと増やしてほしいとしています。

・キレイなまち

公共施設や街の清潔さが保たれていないため、利用しづらいとの指摘がありました。きれいな環境が整えば、より多くの人が安心して利用できるとの意見が述べられています。

・気分転換に行ける場所づくり

日常生活のストレスを解消するために、気軽に気分転換できる場所が欲しいと述べています。そうした場所が少ないため、彼らは精神的な負担を感じるが多いとしています。

・室内で遊べる無料の施設がほしい

特に雨の日などでも楽しめる、室内で無料で遊べる施設が必要だという声が上がっています。費用のかかる施設が多く、自由に遊べる場所が限られていることが問題視されています。

・子どもが気軽に集まれる場所を作るための支援をしてほしい

子どもたちが安心して集まれる場所をもっと支援してほしいという意見がありました。特に、学校外での自由な交流の場が不足していると感じています。

◇分類Ⅲ 愛されて保護されること

・子どもの見解を知ってもらい大人にも自分の間違いに気づいてほしい

子どもたちは、自分たちの意見が大人に伝わり、理解されることを求めています。また、大人も自分たちの行動や考え方に間違いがあることに気づき、対話を通じてお互いの理解を深めることが大切だとしています。

◇分類Ⅳ 教育を受ける権利が公平に与えられること

・中高生が予約やお金がかからない場所で勉強できる施設がほしい

中高生が無料で、かつ予約なしで利用できる勉強スペースの不足が問題として挙げられました。特に、図書館などでの利用制限が課題となっています。

・社会で通用する勉強

生徒たちは、道徳や責任感を学ぶ機会がもっと必要だと感じています。将来の社会生活に役立つ実践的な学びを提供する教育が求められています。

・学生対象の無料の勉強スペースの確保

経済的負担を感じることなく勉強できる場所が必要だという意見がありました。特に、学習意欲のある生徒が自由に利用できる無料のスペースが求められています。

・判断能力をしっかりと養えるような教育がほしい

なるべく早く（幼稚園からでもできるはず）にしてほしい

生徒たちは、幼少期から善悪の判断力を養う教育の重要性を訴えています。特に、中学生になってからでは遅く、幼稚園や小学校からそうした教育を取り入れるべきだという意見がありました。中学校のクラスが荒れており、それを防止するために必要性を感じているとの発言がありました。

◇分類Ⅴ 意見を言う機会や、社会的活動に参画する機会が確保されること

・大人と子どもがしっかりと話し合える

子どもたちは、大人と対等に話し合う場がもっと必要だと感じています。大人が一方的に指導するのではなく、子どもたちの意見を尊重し、しっかりと話し合うことが求められています。これにより、お互いの意見が理解され、信頼関係が深まると考えられています。

・ガチ対談（建前なし）

生徒たちは、大人と建前なしで本音を語り合える場、「ガチ対談」を希望しています。形式的な対話ではなく、率直な意見交換ができる場が必要だという意見があり、これにより本当の課題が浮き彫りになり、解決の糸口が見つかるかと期待されています。

・一人になれる空間をつくってほしい

集団生活の中で、時には一人で考える時間が必要だという意見がありました。生徒たちは、自分のペースでリフレッシュできる空間を希望しています。

・区内のイベントやフェスを増やして誰でも楽しめる場をつくってほしい

墨田区内で開催されるイベントやフェスの数を増やし、誰でも楽しめる場を作ることが提案されました。特に、若者が気軽に参加できるイベントが必要だとされています。

・大人がいない場所、なんでも自由にできる場所がほしい

常識にとらわれることなく、自分で学びたい

生徒たちは、自由な発想で活動できる場所が欲しいと感じています。特に、大人がいない環境で自分たちのやりたいことを実現できる場が必要だとしています。

◇分類Ⅵ 年齢などに応じて、意見が尊重されること

・年の近い人と気軽に相談したりできる場所がほしい

近い年齢の人々と気軽に相談したり、交流したりできる場が求められています。特に、年齢が近いことで共感しやすく、リラックスして話せる環境が重要だとされています。